

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 2月 6日

公表: 令和 2023年 2月 20日

事業所名 くららぼ児童発達支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		大人数になるときはグループを分けて小集団(5~6人)で過ごしている。	継続していく
	2	職員の配置数は適切である	8		細かく配置されている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		落ち着いて過ごす事ができるよう、壁面飾りなどは、最低限にしている	継続していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎日子ども達、職員で掃除(雑巾がけ)等をしている。	継続していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		定期的に職員会議を行い、ミーティングをしている。	継続していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		改善すべき点を職員会議で話し合い、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	定期的に支援方法についての相談の機会を設けている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		職員のスキルアップのため定期的に研修をしている。	継続していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		定期的に保護者と個人面談をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	クラス担任が主に行っているため、職員全員で活動を考えている。	継続していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		月の中で様々な活動を取り入れている。	継続していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		行っている。	継続していく
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	朝のミーティング伝達・確認を毎日しているが、細かい指示をサブの職員に伝達していくようにする。	継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		ミーティングにて打ち合わせ・確認している。	継続していく
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		その日のこどもの支援内容や様子を記録している。	継続していく	

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	保護者の方との懇談を設け、計画の見直しを行っている。	継続していく
----	---------------------------------------	---	----------------------------	--------

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		関係者・関係機関と連携している。	継続していく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8		医療的ケア児は利用されていない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8		医療的ケア児は利用されていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	保護者の了解を得て、各施設へ連携へ行ったり、事業所へ来て頂き連携をとっている。	継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		継続していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8	コロナ禍の為、機会がなかなかなかった。	感染状況をみて、来年度は定期的に行いたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	2		継続していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		LINEや連絡帳にて行うとともに、内容によっては電話、懇談で対応している。	継続していく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	導入したいと思っている。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に丁寧に行っている。	継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		懇談の際に、支援計画について説明をし、適切と判断されたら押印いただくようにしている。	継続していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		相談があった際には、必要に応じて電話等の支援や助言を行っている。	継続していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			コロナ禍の為、積極的に参加できなかった。	感染状況をみて、来年度は定期的に行いたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		課題に対しては上司に相談しながら迅速に対応するようにしている。	継続していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月クラスだよりを出したり、SNS等を利用し情報を発信している。	継続していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		写真等をSNSに乗せる際は特に注意している。(ダブルチェックで確認している)	継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		LINEでも電話でも、伝え方を保護者によって変えている。	継続していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		季節の行事などを地域の人たちと一緒にやる機会を設けている。	継続していく

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		定期的に行っている。	継続していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に行っている。	継続していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		職員同士ミーティングで確認し、共有している。	継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		管理者、保育士、調理担当者で確認し適切な対応をしている。	継続していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	常時職員が閲覧できるようになっており、共有できている。	継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		研修の予定あり。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	保護者にも契約時に説明し、了解を得ている。	継続していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。